



CONTENTS

- ◆ ご挨拶 看護部長 中野 美枝
- ◆ 着任医師紹介
- ◆ 外科紹介
- ◆ DPC制度のご案内
- ◆ 薬剤科よりお薬豆知識

<基本理念>

博愛と信頼

市民とともに新たなる進化をめざして

<基本方針>

- ① 市民から信頼される、安全で良質な医療を提供します。
- ② 地域の中核病院として、関係機関と連携し、地域医療の発展に貢献します。
- ③ 患者さまの尊厳・権利を尊重し、地域の人々に開かれた病院づくりを進めます。
- ④ 教育・研修機能を高め、医療レベルの向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます。
- ⑤ 公共性を堅持しつつ、経営の健全化を図り、安定した病院運営をめざします。

ご挨拶



海南医療センターは平成25年春に新築移転し、おかげさまで順調に日々の診療業務が進められております。

これも市民の皆さま、関係各位皆さまのご支援の結果であると、職員一同感謝申し上げます。

看護部は病院の理念である「博愛と信頼 市民とともに新たなる進化をめざして」をもとに「安全で思いやりのある看護を提供します」を理念といたしました。患者さまが安心して看護を受けていただけるよう、患者さまの気持ちを第一に安全で良質な看護を実践したいと考えています。

また、看護師の育成は優先すべき課題であり、院内の教育委員会を中心に継続教育及び新人教育を柱にプログラムを組み立てています。看護部の基本理念に基づき各個人が専門職としてキャリア開発に取り組み、自立できるスタッフを育成しています。さらに、専門分野の看護師の育成としては、認定看護師や専門看護師を病院組織としてバックアップする体制もあり、看護の質の向上をめざしています。

看護部は病院全職員の6割を占める組織であり、現在140名がそれぞれの部署において患者さまへの看護業務や委員会等を通じチーム医療の一員としての仕事をしている組織ですが、「患者さま一人ひとりを大切に作る組織」「自らがやりがいと誇りを持って仕事ができる組織」であることも心がけております。

今後も私のモットーである「やさしさ」・「謙虚さ」・「リーダーシップ」を常に意識しながら地域に貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

看護部長 中野 美枝

着任医師紹介



Masayuki Nishino

私は平成3年和歌山県立医科大学を卒業し、県下の公立・私立病院勤務を経て平成26年1月に新宮市立医療センターから当センターに赴任いたしました。

専門は胃カメラ、大腸内視鏡検査・治療と糖尿病診療であります。

前任地の新宮医療センターでは、平成25年の大腸内視鏡検査数は1162件、胃カメラ1877件という症例数をこなしておりました。

当センターにおいては、内視鏡センター長の喜田洋平医師とともに検査・治療にあたらせていただきます。

さらに、糖尿病治療に関しては、和歌山県立医科大学の指導のもとに、患者さまに対して地域の先生と連携を取りながらより良い治療を受けられるよう努力していきたいと存じます。

【専門】糖尿病内科、消化器内視鏡内科 内科部長 西野 雅之

外科紹介

海南医療センター 外科についてご紹介いたします。

現在外科の常勤医は、佐々木 政一（ささき まさかず）、落合 実（おちあいみのる）、玉置 卓也（たまき たくや）、辻 俊明（つじ としあき）の4名です。

新病院になり、2名が交替し新体制で臨んでおります。手術は、火曜日の午前中と木曜日の全日で行っております。当科で取り組んでいる疾患は、主に消化器外科領域（胃がん・大腸がん・胆嚢結石・鼠径ヘルニア・痔など）です。また検診を含めた乳癌診療にも取り組んでいます。各種疾患に対する診療について具体的に紹介します。

【良性疾患】

胆嚢結石・胆のう炎：腹腔鏡下胆のう摘出術。

総胆管結石：内視鏡的乳頭切開採石術。

大腸ポリープ：内視鏡的ポリープ切除（EMR）。痔核・脱肛手術。鼠径ヘルニア（脱腸）手術。腸閉塞や急性虫垂炎などの緊急手術。上記以外の疾患にも適宜対応。

【悪性疾患】

胃がん：早期胃がんに近い場合など適応があれば、腹腔鏡補助下胃切除術を行う。

結腸がん・直腸がん：高度進行がんを除いた大腸がん症例は、超高齢や高度肥満例を除いて腹腔鏡下大腸切除術を施行。肝臓がん・胆道がん・膵臓がんなどは適応に応じた治療法の選択。

乳がん：乳房温存手術、センチネルリンパ節生検までは可能。乳房再建は紹介。

上記以外の悪性疾患にも適宜最善の治療法を選択。

【抗がん剤治療】

進行がん患者さまで、抗がん剤治療を行う場合、入院して治療が必要な場合もありますが、多くの患者さまが新設された外来化学療法室で、外来通院で治療を行っています。

【乳がん検診】

マンモグラフィー検診は、月曜日から金曜日の毎日午前中に行っており、年間約700名の方が受診されています。それ以外に月曜日の午後から2次検診を含めた乳腺外来を予約制で行っています。乳腺に異常を感じたら、月曜日以外でも対応しますので受診してください。

【新病院での手術件数】3月から10月まで141例（下記表）。

最後に、手術を受けるなら海南医療センターの外科を希望していただけるよう、日々努力し研鑽をつんでまいりますので、よろしくお願いいたします。

胃がん	17	胆石症	24（腹腔鏡下手術 20）
大腸がん	16（腹腔鏡下手術 5）	鼠径ヘルニア（脱腸）	31
直腸がん	5	痔疾患	11
乳がん	1	急性虫垂炎	10
		その他（腸閉塞など）	26

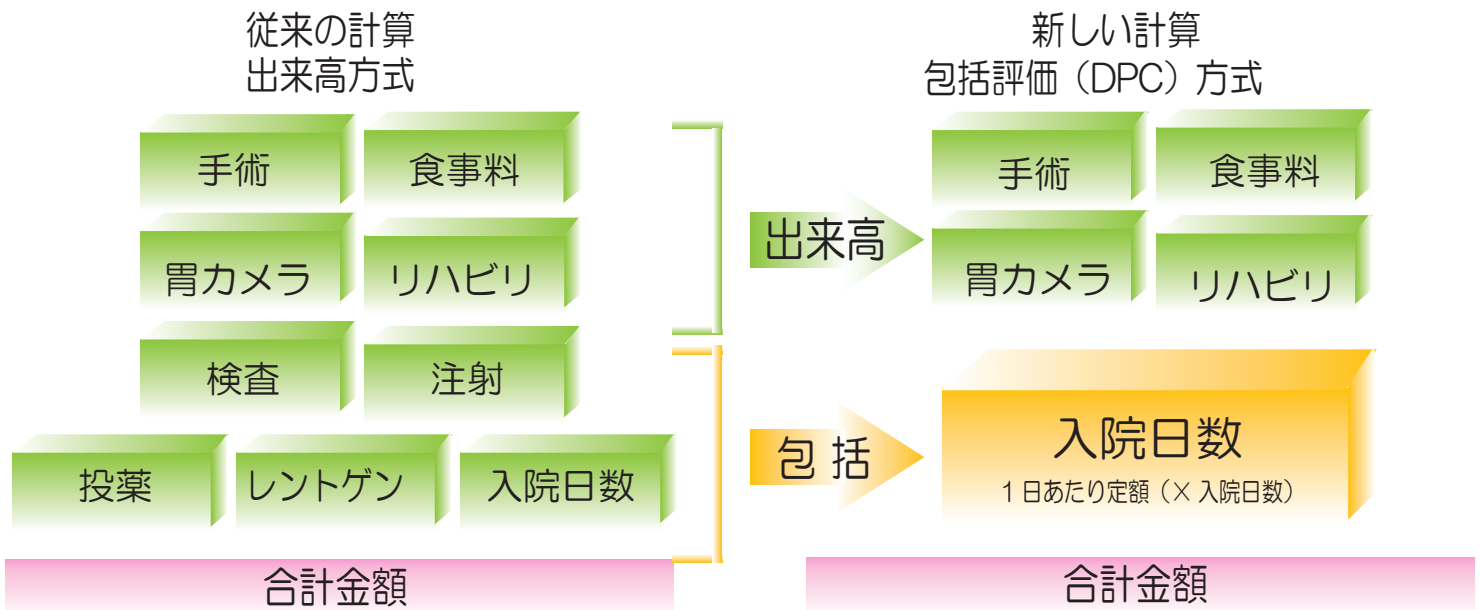
※ 外科手術 平成25年3月から10月まで（合計141例）

DPC制度のご案内 入院医療費の計算方法が変わります

海南医療センターは、良質で効率的・効果的な医療の実現を目的として、DPC(診断群分類別包括評価)という医療制度での請求を実施する病院となりました。この制度は、当初、大学病院(特定機能病院)や一部の国立病院など高度先端医療を行う特定機能病院を対象に実施されていましたが、一定の水準を満たす急性期の病院についても推し進められました。当院でも平成24年度より厚生労働省へ事前調査協力し、一定の基準を満たしたことにより平成26年4月1日よりDPC請求開始となります。このため、平成26年4月1日以降に、入院される患者さまから入院医療費の計算方法が変わります。

Q. 入院医療費の計算方法はどのように変わりますか？

- A. DPC制度では、従来の投薬や検査など実際に行った診療行為を合計して計算する“出来高制度”とは異なり、疾患やその症状・治療行為をもとに厚生労働省が定めた「診断群分類」に基づいて、1日当たりの定額医療費が決定されます。DPC制度が適用されるのは、入院医療費のうち、入院基本料、投薬・注射、画像診断などで、これに従来通りの出来高払いである手術やリハビリなどの料金を合算して計算されます。



Q. DPCと出来高(従来方式)請求は自由に選べますか？

- A. 厚生労働省の定めにより、DPC対象となる症状に対してはDPC以外の請求は認められません。

Q. 入院費は高くなりますか？

- A. 病名や治療内容によって1日当たりの金額が決定されるため、今までの医療費と比べて高くなることも安くなることもあります。

Q. 高額療養費制度等の取り扱いはどうなりますか？

- A. 従来通り変わりありません。

Q. 入院費の支払いはいつ？

- A. 従来通り基本的には退院時支払いになります。ただし、暦月をまたぐ場合は、当該診療の翌月10日頃の請求となり、月単位でのお支払いになります。

Q. 従来の入院診療と何か変わりますか？

- A. 入院中の治療として必要と判断されるものについては、従来通り行います。

お願い

- 入院中の他医療機関の受診について
原則として、当院入院中に、他医療機関での診療や投薬を受けることはできません。但し、主治医が、当院ではできない専門的な診療が必要と判断した場合は、他医療機関へ紹介させていただく場合もあります。他医療機関の診療を希望される場合は、まずは主治医にご相談ください。
- 服薬中のお薬をご持参下さい
当院では薬剤師が、お薬の重複を防ぐため持参薬の確認・管理を行っております。当院や他院で処方されたお薬がありましたら、服用中のお薬と処方内容が確認できるもの(お薬手帳等)を必ずご持参下さい。
- 入院中の病状変化による会計について
入院後、病状の経過や治療内容によって、入院当初の診断群分類が変更になった場合は請求額が変わります。この場合は入院月に遡って再計算を行い、差額調整させていただきますので、予めご了承下さい。

薬をいつ飲むか。食後や食前、起床時や寝る前といったように細かく指示のある薬がいろいろありますね。その理由を考えられたことはあるでしょうか？

いつ飲むか決まっている。それは「そのタイミングで飲む理由がある」ということです。

薬はたくさんの種類があり、それぞれに特徴があります。それを把握して、服用のタイミングを決める必要があります。十分な効果を得るには、有効血中濃度、すなわち、ある一定以上の体内の薬の量を必要とし、それを維持することが大切です。このこともまた服用時間に関係してくるのです。

薬は効果と副作用を持つ「諸刃の剣」です。よって、正しく服用することは患者さま自身のためなのです。

ただ、「薬を飲む」という新たな習慣が生活に加わったとき、患者さまの生活の質を下げず、日常生活のリズムに取り込みやすいものであるのが理想であると思います。

「どうしても飲み忘れやすい」「仕事との兼ね合いで時間的に服用が難しい」など、今の薬の服用がどうも困難だと思われる方は、一度、医師や薬剤師に相談されてみてはいかがでしょうか？



薬剤師 中谷 有希

第19回 市民公開健康講座

日時 平成26年3月15日(土) 13:30~

場所 海南医療センター 1階 外来待合ホール

テーマ 「健康診断のあり方」

講師 内科 日比野彰 医師 生活習慣病対策委員会スタッフ

最近の健康ブームで皆さん健康を気にされ、健康診断を受ける方が増加してきているようです。ところで、日本人の死因の1位2位を争うのが動脈硬化性疾患（心筋梗塞・脳卒中など）と癌です。今回、この動脈硬化についてスポットを当て、健康診断の有効な使い方を講演します。内容としてはまず、病気とは何？から始まり、肥満・高血圧・糖尿病・脂質といった動脈硬化に関する講義、続いて対策としての食事療法・運動療法について述べさせていただきます。

予約の必要はありません。入場は無料です。お誘い合わせのうえお越しください。お車で来られる際は市営市役所東駐車場（有料）や海南医療センター駐車場（有料）をご利用ください。

お問い合わせ：海南市 健康課 電話073-483-8441